



ニュージャージー 補習授業校通信

土曜日は日本の教育を

先生へインタビュー

六月二十二日、初等部五年生は校長先生、教頭先生等、普段あまり接する機会のない先生方へインタビューを行いました。

初めは緊張していましたが、徐々に活発に

なり、やがて、

次々と質問が出てきました。



「補習校を経営するにはお金もたくさんかかり大変なのに、なぜ補習校をやっているのですか。」

「子どもの時、つき合いにくい友達とどのようにして、仲良くなりましたか。」等、今の自分たちや将来の生活に結びつく質問でした。ぜひ家庭でも親子でインタビューを通して「生き方」につい

て話し合い、一緒に考える機会にされたいかがでしょうか。

水遊び、すいか割り、シャボン玉

幼児部は晴天の中、すいか割り、小さいプールですが、水遊びやシャボン玉【写真】など、楽しく過ごしました



プールに入る前には全員きちんと準備体操をしました。四月に入園した年中のさくら組、すみれ組の子ども達も先生のお話を聞く姿勢や体操をする動きを見ていると集

団生活に慣れ、しっかりしています。「どんな遊びが楽しかったの。」「すいか割りはすいかが割れたの。」など、土曜日の出来事をぜひ家庭でも振り返るように保護者の皆様から話しかけてください。幼児部から日本語をたくさん使うことは、やがて初等部へ進学

するとき、子ども達の自信になり、進学することが楽しみになります。

今週、二十九日は「七夕の集い」で各学級の七夕飾りを紹介し、先生たちがハンドベルの演奏を行います。何が楽しかったか、ぜひ尋ねてあげてください。

どんな新聞ができるかな

初等部四年生の国語「新聞を作ろう」は、グループ学習です。グループでテーマを決め、

資料集めを行いました。

今は写真のように、レイアウトを考え紙に書き込む作業が本格化しています。

ブラックホールを調べたり、東京について

調べたりと、熱心に学習活動をしていました。

新聞の完成に、期待が高まります。



第十二号

令和元年

六月二十九日

発行